

Mao danqing
作家 毛丹青氏 講演会

豊かさの中の閉塞感を打ち破ろう - 中国で人気雑誌『知日』の試みを通して -



J I A 市民大学講座・'15まちづくりセミナー・住宅部会9月例会

「なぜ中国人は、日本が好きなのか！」
反日でなく、親日でもなく「知日」



日本は知ることへの執着がかなり薄れてきている。
知ることへの関心が重要であり、日本の文化や暮らしを私たちと違う角度・視点から分析され中国で広く紹介されている月刊誌「知日」。

日本は今、知らないうちに取り残されている。



日本の文化を独自の目線で読み解き、様々な分野の文化についてスポットを当てて、中国に日本を紹介する月刊誌「知日」で主筆される。
タイトル「猫」「漫画」は約10万部を超えるベストセラー。
次に「妖怪」「料理の魂」とならび「断捨離」などもある。
「家宅」では日本の建築家にもスポットを当て、茅葺きの古民家から最近の建築家作品までを一冊にまとめて紹介されている。
私たちがごく普通に見落としていたり、実は知っているようで知らない日本の魅力がまだまだ溢れている。
もっと知ることに興味をもて！！



作家・神戸国際大学教授 毛丹青 (マオ・タンチン) 氏 略歴

1962年 中国・北京市に生まれ 北京大学卒、中国社会科学院哲学研究所助手研究員を経て、1987年 三重大学への留学を機に初来日。その後、水産会社や商社勤務などを経て、日本語作家としてデビュー。
日本各地への旅を続けながらつづった『につぼん虫の眼紀行』(法蔵館・文春文庫)で神戸第28回ブルーメール文学賞を受賞。
2009年 神戸国際大学教授に就任。両国を取り持つ著作活動に取り組むかたわら、都市環境や社会表象論などについて研究を進めている。
2011年 北京で『知日』創刊、主筆を務める。



2015年9月11日(金)

時間：18:30～20:30(開場18:00)
場所：大阪府大阪市北区中之島1-1-27 大会議室(地下1階)
定員：80名(要事前申込・先着順)
会費：都市デザイン研究会・住宅部会 会員(スタッフ含む)・無料
上記会員以外 一般・1000円/学生・500円

CPD：JIA・建築士会 CPDプログラム申請中 2.0単位
主催：(公社)日本建築家協会 近畿支部 都市デザイン研究会・住宅部会
協賛：(株)国代耐火工業所・高橋カーテンウォール工業(株)
・旭ビルウォール(株)・(株)クチーナこうべ
申込先：(公社)日本建築家協会近畿支部事務局

Tel:06-6229-3371 Fax:06-6229-3374 e-mail:info@masakunst.com

参加ご希望の方はFax又はe-mailにて9月8日(火)までに下記内容をご記入の上お申込みください。

氏名 _____ 勤務先・所属 _____

連絡先 (mail・Faxに申込受付を返送致しますので必ずご記入ください) _____

会員番号 (CPD単位申請のみ) _____ 懇親会 (参加希望者のみ○を記入) _____ ・ 参加します _____



【大阪府中央公会堂】
大阪府大阪市北区中之島1-1-27
・地下鉄/京阪「淀屋橋駅」下車
1番出口から徒歩約5分
・地下鉄/京阪「北浜駅」下車
22号出口から徒歩約6分

【懇親会】
時間：20:50～22:30
場所：大阪市内会場近辺
会費：5000円
定員：30名
(要事前申込・先着順)